

平成26年度 阿賀野市学校保健部 活動報告

部長 五十嵐 京子

1 研究主題 児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援

2 研究の概要

- 4月22日(火) 組織の構成・役割分担、年間計画立案
6月10日(火) 研究計画立案、健康相談についてグループ別研修
学校保健統計冊子についての検討
8月6日(水) 保健室における健康相談の事例検討会
11月17日(月) 保健室で活用できる認知行動療法についての研修会
11月28日(金) 学校保健統計冊子編集会議
12月16日(火) 学校保健統計冊子編集会議
12月17日(水) 関係機関に学校保健統計冊子配布

3 研究の実際

(1) 「健康相談における養護教諭の支援について」

① 事例検討会

グループに分かれ、健康相談事例を発表し、意見交換を行った。

② 事例検討会と講義(対応のポイント)

健康相談の事例発表(小学校1例、中学校1例)とグループワーク

講師 下越教育事務所 スクールソーシャルワーカー
高木 眞智子 様

③ 講演「保健室で活用できる認知行動療法について」

講師 新潟認知行動療法リサーチ代表
小林 奈穂美 様

(2) 学校保健統計冊子の作成

統計の積み重ねを大切にして作成した



4 成果と課題

保健部会の研究は、新潟県養護教員研究協議会の小・中学校部の研究主題を受けて取り組んでいる。今年度は、健康相談における養護教諭の支援について各校の情報交換を行い、共有化を図った。また、健康相談の事例発表と「認知行動療法」について講師を招いて、指導していただいた。成果としては、様々な事例を疑似体験することで、児童生徒への支援の視点を学ぶことができた。さらに、講師から発達段階における問題の見取りや認知行動療法を活用した事例を聞くことで、養護教諭が行っている児童生徒実態への支援について振り返ることができた。今後は、養護教諭が児童生徒の実態に合わせて適切な支援を行えるように力量を高め、児童生徒のよりよい発達に繋げていくことが課題である。